



大町市キャラクター  
おおまびょん

／お互いさまのまちづくり

第179号  
平成27年12月1日

# 社協 おおまち

## 若原町小地域福祉ネットワーク「わかば会」 住民交流「紅葉狩り」



若原町の「わかば会」（山川奉元会長）では、住民の相互交流を目的に毎年交流会を企画しています。地域の関係が希薄化してきているといわれている中、住民が集まり交流することはとても大切で、「皆さんが参加しやすい企画を」と考え開催しています。

10月4日は白馬五竜スキー場に出掛け、色とりどりの紅葉を楽しみました。

### 主な内容

- ◆災害について考えましょう……………2～3ページ
- ◆災害ボランティアセンターとは……………4ページ
- ◆あの日あのとき……………5ページ
- ◆社協会費ご協力ありがとうございます…6～7ページ
- ◆社協の相談事業……………7ページ
- ◆お知らせ 公衆浴場「年末年始」の営業ほか…8ページ

## — 神城断層地震から1年 —

# 災害について考えましょう

平成26年11月22日の午後10時8分頃、後に神城断層地震と呼称されたマグニチュード6.7の地震が大北地域を襲いました。昨年は雪害から始まり、木曽の土石流、御嶽山の噴火と長野県内では多くの災害が発生しました。今年も鬼怒川の決壊による水害が記憶に新しいですが、災害は日本国内で毎年のように発生しています。

災害はいつ起こるか分かりません。いつ当事者になるかも分かりません。神城断層地震発生から1年が経過した今、もう一度災害について考えてみましょう。

### ◆神城断層地震の今

現在も多くの皆さんが避難生活を送っています。  
1日も早い復興をお祈り申し上げます。

市町村	世帯数	避難者数	避難先
大町市	7世帯	17人	市民農園や公営住宅
白馬村	54世帯	146人	仮設住宅（26世帯、75人） 公営住宅や親族宅（28世帯、71人）
小谷村	17世帯	38人	公営住宅など

平成27年10月31日現在



白馬村仮設住宅（平成27年2月）

### ◆災害支援報告！ 茨城県常総市鬼怒川水害

長野県内社協職員と一般ボランティア総勢39人が10月30日、茨城県常総市石下地区で災害ボランティアとして活動してきました。

被災から2カ月近く経った今でも、多くの皆さんが避難所生活をしており、泥水に漬かった家屋の多くが手付かずの状態でした。



向かったのは、鬼怒川決壊場所付近の常総市石下支所に開設されているサテライト災害ボランティアセンター。



▲ この日初めて出会った災害ボランティアの皆さん。作業終了後には、皆で活動を振り返り、災害支援の大切さを確認しました。

◀ 7～8人の班に分かれ、個人宅の泥出しや清掃活動を行いました。

## それぞれの役割は…

災害関連の話の中ではよく「自助」「共助」「公助」という言葉が使われます。自助とは、自分で自分の身を助けることです。家具の固定や非常用持ち出し袋の準備など、まずは個人でできる防災対策が大切です。ここからは、「共助」「公助」について、それぞれの役割を考えてみましょう。

### 共助とは

共に助け合うことを意味する言葉です。災害では「隣近所が助け合って地域を守ることまたは備えること」という意味で使われています。「遠くの親戚より近くの他人」といわれるように、災害発生時には自治会や隣組の仲間が頼りになります。





## ◆隣近所の役割は

隣近所には、災害発生時や災害への備えとして、どんな役割があるのでしょうか。

災害発生時	災害への備え
●お互いの安否確認（声掛け）	●お互いに助け合う避難行動の仕組みづくり
●一人で避難することが困難な人の避難支援活動	●一人で避難することが困難な人の情報共有
●地域の避難状況の把握と災害対策本部との連携	●訓練等による実践活動
	●安否確認方法の仕組みづくり

### ― 上自治会の取り組み ― 隣近所で助け合う仕組みづくり ―

#### 面倒と思わずまずは始めること

上自治会長 高橋 正さん



昨年の神城断層地震で死者がゼロだった要因の一つに、地域のつながりがあったと聞いた。自治会は行事等を通じて住民交流をすることも大事だが、災害時に人命をいかに救うかを考えることも大事だと気付き、自主防災会の活動を活性化させる取り組みを始めた。

#### ◆「支え合いマップ」づくりと仕組みづくりの検討

行政から「避難行動要支援者名簿」の提供を受け、「支え合いマップ」づくりに取り組んだ。作成する中で、地域住民から「隣近所での支え合いが大事」との意見が出され、災害時に隣近所で支え合える仕組みづくりの検討会を自治会役員や民生児童委員、消防団員を交え始めた。今後も検討を重ね形にしていきたい。

#### ◆要支援者の安否確認訓練の実施

避難行動要支援者名簿に基づき、隣組長が中心となって地域の要支援者の安否を確認し、結果を自治会役員に報告する形で実施した。初めての訓練で新しい発見や課題もあるが、これをたたき台として今後も訓練を重ねていきたい。

いつ起こるか分からない災害への備えを「面倒」と思っているのは前に進まない。まずは始めることが大事。

## 公助とは

市役所や警察署、消防署などの行政機関が支援、救援を行う公的支援を公助といいます。

## ◆行政の役割は



災害発生時	災害への備え
●災害対策本部の設置	●地域防災計画の策定
●被害状況の把握	●総合防災訓練の実施
●避難所の設営	●災害備蓄品の整備
●住民への情報提供 など	●情報伝達手段の整備（災害無線など）
	●自主防災会の育成 など

## ◆行政対応の限界

行政は公助の担い手としてさまざまな災害対応に取り組んでいます。ただし、大規模災害時の対応には限界があります。地域の実情に応じたきめ細かな対応をするためには、地域住民の協力が不可欠です。

**災害対応は、みんなが「自分事」として取り組むのが大事！**

## ◆社協の役割

社協は、地域福祉を推進する中核団体として、災害に強い「地域のつながりづくり」を推進しています。災害発生時には、災害ボランティアセンターを立ち上げて運営します。

### 地域のつながり ― 支え合いマップ ―

災害発生時に支援が必要な人を地域の皆さんが把握し、その対応について考える「支え合いマップ」の作成を推進しています。



### 災害ボランティアセンター運営

災害発生時にボランティア活動を効率良く推進します。詳しくは4ページをご覧ください。

# 災害ボランティアセンターとは

大規模災害が発生したときに、「被災した皆さんを支援したい」という思いを取りまとめ、被災地支援のボランティア活動を、効率的・効果的に実施していくことを目的に設置するのが「災害ボランティアセンター」です。 神城断層地震や東日本大震災でも、災害ボランティアセンターが設置され、多くのボランティア活動が行われてきました。



## ◆災害ボランティアセンターの役割

### 被災地からの情報発信

支援したいという思いを取りまとめるために、今どんなボランティア活動が必要か、ボランティア活動に来るにはどのような方法がいいのかなど、被災地からの情報発信を行います。情報発信を誤ると、せっかくの思いを無駄にしてしまうこともあります。

最近では、ほとんどのボランティアがインターネットからの情報を頼りにしており、ホームページやフェイスブックなどのSNSにより情報が発信されています。

### 被災者ニーズの把握

被災者がどんな困り事（ニーズ）を持っているかを把握し、公的支援で賄えるのか、ボランティア活動での支援が必要なのかを判断します。ニーズの中には危険が伴う作業もあり、この判断を誤ると、ボランティアを危険な目に遭わせてしまうこともあります。どこまでがボランティア活動かを見極めることも災害ボランティアセンターの役割です。

### 思いをつなぐーボランティアの派遣ー

把握したニーズに対し、ボランティアを派遣します。男女別に派遣人数を整理し、支援活動に必要な道具を可能な限り提供し、活動していただきます。活動後は、ボランティアからの支援活動報告を受け、翌日以降も必要な活動であれば再度派遣し、ニーズが満たされるまで活動します。



ボランティアにニーズを説明している状況  
(白馬村災害ボランティアセンター)



### 人の優しさを感じた ボランティアさんに感謝

美麻・青貝 高橋 久美子さん

地震の経験は、今思い出しても「恐怖」そのもの。自宅は半壊と認定され、そのままでは住むことができない状態でした。地震で壊れてしまった家財道具の片付けが必要になり、身内だけではどうすることもできないと思っていたところ、多くのボランティアさんに協力してもらい運び出すことができました。

あれから1年が経ち、元の場所で新しい生活を始めるため再建を進めています。再建にあたってはいろいろなことを考えましたが、今思い返すと、ボランティアさんを含め、多くの方々に助けてもらったことで、前向きな考えに変わっていったと感じます。

ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。災害を経験し、人の優しさを強く感じることができました。



高橋さん宅ボランティア活動

# あの日、あのとき…

## 市民ふれあい広場 —10月10日(土)開催—

### 社協 復興支援ぼたん鍋コーナー



美麻ジビエ振興会協力の下、ぼたん鍋の振る舞いコーナーを行いました。

開始1時間で終了してしまうほどの人気でした。ありがとうございました。

### 社会福祉功労者表彰 市民ふれあい広場 オープニングセレモニー

#### ●福祉功労者 (敬称略)

《本会役員》宇田 義一

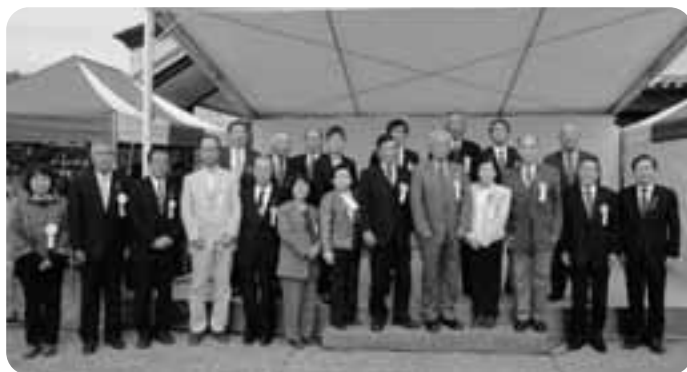
《保護司》海川 保夫

《社会福祉事業団体》

中村 千文、老野津世志、横沢 淳司

横川 宏司、宮沢 美枝、佐藤 武夫

《模範団体》大町病院内ボランティア、  
北原町青風会、ことばの森  
大町民話の里づくりもんぺの会、  
曽根原あかしや会、三日町さんさん会、白塩町ネットワーク、野口れんげの会



#### ●感謝状 (敬称略)

《個人》降幡 芳夫

《団体》日本禁煙友愛会大町支部、大町市老人クラブ連合会

## 昔の遊びコーナー

国営アルプスあづみの公園大町・松川地区  
北アルプスフェア2015 10月3・4日開催



市内のボランティアの皆さんの協力の下、こま回しやあやとり、お手玉やけん玉など、昔ながらの遊びをたくさんの親子連れと楽しみました。





<b>【上ー】</b> 竹村 静哉 倉科 健夫 下條信一郎 山崎 孝之 平林 晴雄 北澤 学 清水 岩根 清水美和子 藤巻 正 伊藤 秋男 藤巻 繁人 藤巻 昭 藤巻 建彦 藤巻 智子 藤巻 芳雄 丸山 剛 藤巻 守 藤巻カヲル 中山 晴之 吉岡 敏 宮原 洋 渡辺磨須子 花岡 武久 中山 鈴江	藤巻 隆二 松田 滋 菅野 容子 内川 三郎 山本 陽東 伊藤 昭 奥原 文登 佐々木清市 小林 公男 藤巻 寿 岡江たけ子 北原 健吉 小野 峰敏 丸山 繁雄 鳥羽 正美 丸山 章人 吉井 治人 藤巻 幸男 田中 幸雄 竹村 良子 中村 忠政 中村 勲 齋藤 豊	<b>【社地区】</b> 会員数87人 <b>【宮本】</b> 遠藤 照子 一志 尚美 松田 富子 松田 昌子 矢口 博文 一志 裕 宮崎 栄介 山岸 正昭 遠藤 道代 百瀬 泰慶 太田みつ子 清水憲一郎 <b>【関田】</b> 柳澤 滋益 柳沢 博文 遠藤 正人 曾根原通夫 五十嵐 孝 <b>【曾根原】</b> 松井 輝久 降幡今朝俱	山田 重雄 松田 信一 降幡 哲夫 横沢 善明 降幡 司 松田 崇 <b>【山下】</b> 永田三代子 大北石油 柳 矢口 一夫 内川 篤 山岸 敏忠 内川 英一 山岸 安智 内川もとみ ツカサ工業 柳 大日向 功 内川 孝 内川 正宣 矢口 貞夫 内川 亨 山岸 博 内川 健 竹内 直彦 内川 慶子	<b>【館の内】</b> 中島 弘 原 政弘 伊藤 安子 中島 澄夫 伊藤 芳美 浦野 仁美 吉竹 行仁 佐藤 武夫 北林 健 原 務夫 松田 順 中島満知良 平林 久保 西沢 運之 原 忠廣 黒田 幸雄 <b>【松崎】</b> 降旗 寛 飯塚 宏子 降旗やすゑ 洪田見 博 飯島 敏宏 中川 嘉捷 降旗 弘	遠藤 久五 関 一人 太田 栄治 鎌倉 忍 伊藤 久 高橋 恭男 飯島 楯雄 藤沢弥五衛 高橋 鴻生 平林 俊彦 八丁 真 飯島 勝幸 降旗 和幸 丸山ふみよ 高橋 寛二 川井 健三 小松 公代 降旗 孝 <b>【八坂地区】</b> 会員数58人 <b>【相川】</b> 塚田 重郎 塚田 茂 <b>【大平】</b>	北澤千代司 北澤 伸夫 北澤 良知 <b>【明野】</b> 竹本 明信 <b>【笹尾】</b> 平林 操 平林 保子 <b>【矢下】</b> 降旗 剛 <b>【横瀬】</b> 小柳 嘉美 北澤 豊繁 柳小柳建設 <b>【小松尾】</b> 北澤 徳重 北澤 久男 麻田 俊一 <b>【石原】</b> 松下 千秋 松下 忠晃 <b>【満仲】</b> 丸山 和男 松下 輝好 大澤 弘	中島 喜一 北澤 正子 <b>【押の田】</b> 勝野 昭治 勝野 明 <b>【切久保】</b> 仁科 克彦 仁科幸知代 酒見 祐吉 <b>【宮の尾】</b> 勝野 一由 石川 雄三 <b>【一の瀬】</b> 香山 由人 松井 一美 勝野 功 <b>【小菅】</b> 大厩 正一 <b>【大塚】</b> 鳥屋 寿和 丸山 忠彦 鳥屋 隆一 <b>【野平】</b> 坂井 勇一 中村 清和	坂井 一久 山崎 政宏 坂井 義幸 坂井 好子 小林 英樹 市河 千春 坂井 欽吾 鮎井 洋一 内山喜久夫 <b>【柗沢】</b> 南澤 靖 <b>【上巻】</b> 内山善次郎 内山 和典 大日方 隆 大日方宗仁 <b>【美麻地区】</b> 会員数27人 <b>【大塩】</b> 山本 正伸 大厩 市郎 竹内千代子 清水 明子 <b>【二重】</b>	吉沢 岑夫 塚田 寛政 飯沢 要 小森 敏文 佐藤 修一 大塚 裕明 北沢伊祐男 飯沢 壮一 飯沢 義昭 <b>【新行】</b> 酒井周一郎 和田 俊彦 種山 彰夫 酒井 孝芳 <b>【青貝】</b> 江津 文人 <b>【千見】</b> 下條 秀則 松下 豊明 傘木利也子 清水 一弘 小林 博一 <b>【市外】</b> 会員数3人
--	--	--	---	--	---	---	---	--	---

一人で悩むよりもまず相談！  
お気軽にご相談ください

## 社協の相談事業

事前予約にご協力ください

心配ごと相談・司法書士相談

日々の暮らしの中の大小の悩み事について、解決の糸口を相談者と共に見い出していく相談窓口を開設しています。複数の相談員で相談に応じます。お気軽にお電話ください。

### 大北地域心配ごと相談日程 12月・1月

12月	期日	時間	内容	担当者	会場	問い合わせ
12月	12月7日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	12月21日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談 行政相談	心配ごと相談員 行政相談員		
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	12月8日(火) 12月22日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	12月2日(水)	13:00~15:00	生活全般 人権相談	民生委員 人権擁護委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
1月	12月8日(火)	13:00~15:00	人権・心配ごと相談	人権擁護委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-7230
	12月9日(水)	13:30~16:00	心配ごと相談 行政相談	司法書士 行政相談員	小谷村開発センター	小谷村社協 ☎82-2431
	1月18日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
		13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
	1月12日(火) 1月26日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	1月6日(水)	13:00~15:00	生活相談 人権相談	民生委員 人権擁護委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
	1月13日(水)	13:00~15:00	心配ごと相談	司法書士 人権擁護委員 民生委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-7230

### 長野県・大町市生活就労支援センター 「まいさほ大町」

生活や就労で困っている皆さんの相談窓口を開設しています。

**日程** 月～金曜日(土・日曜日、祝日を除く) 8:30～17:30

### 日常生活自立支援事業

障がいのある人や高齢者で、ご自身で判断することが難しく、日常生活や財産管理で困っている皆さん。社協が金銭管理を含めた日常生活をお手伝いします。

**相談日** 月～金曜日(土・日曜日、祝日を除く) 8:30～17:30



## 大町市総合福祉センター「公衆浴場」のご案内

### 公衆浴場年末年始の営業

年末年始の公衆浴場は、以下のとおり営業します。皆さまのお越しをお待ちしております。

#### 【営業日程】

年 末 (12月)		年 始 (1月)	
期 日	営 業	期 日	営 業
～27日(日)	通常営業(10～21時)	1日(金)	休 業 日
28日(月)	定 休 日	2日(土)	休 業 日
29日(火)	臨時営業(10～17時)	3日(日)	臨時営業(13～17時)
30日(水)	臨時営業(10～17時)	4日(月)	定 休 日
31日(木)	休 業 日	5日(火)～	通常営業(10～21時)



さらに! **1月3日(日)はお年玉無料開放デー!!**

より多くの皆さまに、公衆浴場を知っていただくとともに日ごろの感謝を込めて、公衆浴場を無料開放します。この機会にぜひご利用ください。

#### おしるこ無料振る舞い!

1月3日(日)午後1時より、来場者先着100人の皆さまに、感謝を込めて手作りのおしるこを無料で振る舞います。

#### ボランティア募集!

おしるこの振る舞いをお手伝いいただけるボランティアを募集します。新年最初のボランティア活動はいかがでしょうか。

- ◆募集人数 10人
- ◆締め切り 12月14日(月)
- ◆申し込み 大町市社協 TEL22-1501



## 障害福祉サービス事業所より

### やきいも販売始めました

12月になり、日増しに寒さが身に染みる季節となりましたね。そんな寒い季節に焼きたてのやきいもはいかがでしょう。

- ◆販売日 毎週水曜日 午前10時～午後3時(完売次第終了となります)
- ◆価 格 100グラム 100円です。
- ◆会 場 大町市総合福祉センター南側ひまわり棟
- ◆問い合わせ TEL22-4956 (事前予約も受け付けます)



ここで販売  
しています



**店舗用テントも新調! 皆さまのお越しをお待ちしております。**

#### ふれあいの窓

善意の寄附を  
ありがとうございます

#### 【現金】

大謡会……………16,169円  
日本禁煙友愛会大町支部…4,500円  
大町市陶芸の家……………10,000円  
88ボランティア……………10,000円  
大北建設労働組合……………3,811円  
大系タイムス友の会……………40,000円  
相生町老人クラブ長生会…11,523円

#### 【物品】

渡辺 卓也……………トイレットペーパー12ロール入り1袋  
西山 文子……………毛糸、布多数  
神楽町女性部……………日用品多数  
信光実業(株)大町支店…カレンダー29本

#### 【使用済み切手等】

AW・ウォーター(株)信濃大町工場、(株)倉品組、匿名多数  
敬称略 平成27年9月16日～11月15日受け付け分

「社協 おおまち」へのご意見、ご希望、投稿など皆さんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行：社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

URL <http://www.omachishakyo.org/> E-mail [soumukikaku@omachishakyo.org](mailto:soumukikaku@omachishakyo.org)